第47号　　令和３年１月発行

木の香園

♪グループホーム特集♪

グループホームとは、ご家族の高齢化等に伴い生活の場が変わる必要があるときや、ご利用者様が「住み慣れた地域で自分らしい生活を送りたい」と考えたときに、生活を送る上で困難な場面に対して、日中だけでなく夜間であっても支援やサポートを受けながら生活ができる場です。ご利用者様やご家族様が安心できる生活の場を目指した木の香園の取り組みをご紹介します！

休日は？

住み心地は？

とにかく知りたい！

ご飯は？

＜社会福祉法人大川市福祉会＞　〒８３１－０００２　福岡県大川市大字下林４３３－１
ＴＥＬ　０９４４－８８－８２３４　　ＦＡＸ　０９４４－８８－８２４４
Mail:jiritsu@kinokaen.or.jp　　ＵＲＬ：http://www.kinokaen.or.jp/

グループホーム特集①

木の香ほーむ陽の木

「自分らしく過ごせるほーむ」

木の香ほーむ陽の木は、共同生活援助事業所(日中サービス支援型)です。男性５名、女性５名、計 10 名が入居しています（短期入所は定員２名)。

在宅で生活している障がい者とそのご家族が高齢化しており、親亡きあとも住み慣れた地域で暮らし続けられるように……という地域やご家族の声から平成 31 年４月に開所しました。

キャッチフレーズ『自分らしく過ごせるほーむ』のように、一人ひとりの想いに寄り添いながら地域で充実した暮らしを送れるような支援を目指しています。

活動の様子

どら焼き作り

避難訓練

花植え活動

誕生日会

利用者様から・・・・・・

石橋光子さん

家から陽の木に入所して、とても助かってます。おやつ作りや外出行事と楽しかったです。これからもお世話になると思います。よろしくお願いします。

川野勝己さん

陽の木の生活も１年 10 か月を迎えます。入居当初は体調も良くなかったですが、昨年の８月下旬頃からもち直してきたので現在では、パソコンをテレビにつなげて自分のライフワークを楽しんでいます。職員の皆様にはたくさんお世話になると思いますが、これからもよろしくお願いします。

早くコロナが終息しますように･･･

新型コロナウィルス感染拡大に伴い、外出、行事等が今まで通りに出来ない一年になりました。来年度は感染拡大状況を見ながら可能な限り企画・実施していければと思っています。

利用者様やご家族の皆様は色々な気持ちや想いがあり入居されたと思います。日々の中で「自分らしい生活が送れている」、「陽の木に入居してよかった」と思って頂けるように、一人ひとりの想いに沿ったサービスを提供していきたいと考えています。これからもよろしくお願い致します。

生活支援員　田中 由香里

ゼリー作り

外食

季節の製作

花火

陽の木のタイムスケジュール

平日の過ごし方

6：30　起床・着替え・整容
7：00　朝食
9：00　日中活動へ通所
　　(日中サービス支援：
　　余暇活動、食事、入浴等)
16：00　帰所
　　余暇活動
18：00　夕食
　　入浴・自由時間
　　就寝準備
21：00　消灯

土・日・祝の過ごし方

6：30　起床・着替え・整容
7：00　朝食
9：00　余暇活動・入浴
　　買い物、ＤＶＤ鑑賞
　　ドライブ等
12：00　昼食
13：00　入浴・余暇活動
15：00　茶話会(おやつ)
　　余暇活動
18：00　夕食
　　自由時間・就寝準備
21：00　消灯

ご家族から・・・・・・

【Ａさん母】学校生活の延長で始まったホームでの生活。慣れてくれるか、リズムが変わることなく生活できるのかと気がかりはありました。週末帰省し本人からの話、様子からほんとうによく声かけをいただき、本人も親も安心して生活できています。ホームでの生活も一年以上が経ちました。利用者・職員の方々の力添えいただきながら穏やかな生活が続いてくれることを願っています。

【Ｂさん母】良く言えば、ずい分伸びのびしている感じがします。半面わがままにもなっています。９ 才の頃てんかんの手術の影響で言葉がでなくなりましたが、一生懸命に何かを伝えようとするようになりました。これも陽の木のスタッフさんが息子に話し掛け要求や気持ちを理解しようとしてくださっているのだと思いました。帰省中、私の側に来て「かあちゃん!〇〇」とよく言うようになりました。いまいち〇〇が良くわからないのですが…＾＾自分で服選びをするようになりおどろいています。以前は親が準備している服を着ていましたが、自分でタンスを開け自分の意志で好きな服を着ていて時には、中々決まらずファッションショー状態になる事もあります。陽の木では息子を尊重して見守って頂いています。スタッフの方にとっては職場なのでしょうが、息子達、利用者にとってはあたたかい家庭であってほしいです。今の“陽の木”の心こもった支援が続くことを願います。

食堂

休日の昼食(うどん)

夕食(チキンかつ)

利用者の皆さんが陽の木に帰りたい！！と思えますように・・・・・・。

木の香ほーむ陽の木が開所してもうすぐ２年が経とうとしています。

「自分らしく過ごせるほーむ」を意識し利用者様の満足度や利用者様・ご家族から意見や評価を頂き、より良いサービスの提供に努めてきました。陽の木の良い所は日中・夜間帯両面の利用者支援をする中で、一人ひとり違った意思伝達の仕方や表現豊かな表情を見ることが出来るところにあると考えます。そのため、日々関わりの中からその人がその人らしく過ごせるよう利用者様の自己決定を大切にしています。

新型コロナ感染拡大防止のため、行事や園外活動を控えてきました。新しい生活様式を守りながら利用者様が安心で快適な暮らしが出来ることを念頭に置き、利用者様の安全を守るために安全衛生管理に努めていきたいと思います。

管理者・サービス管理責任者　津村希世美

グループホーム特集②

木の香（き か）ほーむ（小保・道海・木室）

「それぞれの居場所 それぞれが特別」

○歴史

平成２２年４月　木の香ほーむⅠ・Ⅱ（小保ほーむ）開設
平成２６年４月　木の香ほーむⅢ（道海ほーむ）開設
　　木の香ほーむⅣ（木室ほーむ）開設
平成２９年６月　木の香ほーむⅤ（木室ほーむ）開設

○それぞれの木の香ほーむについて

ほーむⅠ・Ⅱ（小保ほーむ）
定員４名・男性
小保団地の２部屋
団地の草取りにも
参加しています！

ほーむⅢ（道海ほーむ）
定員７名・男性
一軒家
男性だけでワイワイ楽しく
暮らしています！

ほーむⅣ・Ⅴ（木室ほーむ）
定員１１名・女性
サンヴェルディ木室の４部屋
料理や手芸などの女子会
楽しんでいます！

○ほーむのタイムスケジュール

【平日】
７：００　起床・朝食
　　準備
８：００　通所
　　日中活動
　　（一般就労・A型・B型）
１６：００　帰宅・入浴
１８：００　夕食
　　自由時間
２２：００　消灯

【休日】
７：００　起床・朝食
　　自由時間
１２：００　昼食
　　自由時間
１８：００　夕食・入浴
　　自由時間
２２：００　消灯

※細かいスケジュールは利用者様自らが決め、過ごしています。

利用者インタビュー①

小保ほーむ　武下幸司さん

毎日頑張っています！

Ｑ１．ほーむでの生活は何年目？

→大体 10 カ月くらい。

Ｑ２．ほーむに入る前と現在で自分に変化は？

→穏やかになった。同居人や世話人との関係も順調です。

Ｑ３．今後の生活面・就労面での希望や目標は？

→現状を維持していきたい。たまに遅刻してしまうことはあるけど、休まず頑張ることが目標。

まだまだ慣れないことも多いけど楽しく生活しています。これからは道海ほーむや木室ほーむの人とも会って交流してみたいです。

利用者インタビュー②

道海ほーむ　坂井幸樹さん

Ｑ１．ほーむの生活で楽しいことは？

→みんなと話が出来ること。

Ｑ２．共同生活の中で大変なことは？

→災害等の緊急時、避難するのがきつい。

Ｑ３．共同生活の中で自分が気を付けていることは？

→周りに迷惑をかけないこと。
色々あるけど、何かあれば世話人さんに相談するようにしている。

１人暮らしは気楽かもしれないけど、仲間と生活することが楽しいし、自分に合っていると感じています。

鷹の祭典で貰うユニフォームを集めています！

利用者インタビュー③

木室ほーむ　後藤貴美子さん

小説が好きです！

Ｑ１．ほーむの食事は美味しいですか？

→ご飯は美味しい。職場で作ったものを実際に食べると印象が変わる。

Ｑ２．休日の過ごし方は？

→仕事がない日は、１時間くらい遅く起きてゆめタウンか積文館へ買い物をしに行く。好きなテレビもゆっくり観ている。

Ｑ３．ほーむの生活で楽しかったことは？

→誕生日会でお寿司を食べたこと。
以前行ったイルミネーションも良かった。

本屋大賞など受賞した小説は好きなので読んでいます。休日は読書等自分のペースで過ごせるのが嬉しいです。

グループホームが利用者さんの“安らげる場所”となれるように

グループホームでは日々様々なことが起きます。しかし、育ってきた環境も現状も違う人達が共同生活を送る上でトラブルが起きることは当然であり、「想いの先にあるもの」は何かを考え対応することを意識しています。また、“終の棲家”としてだけでなく一人暮らしの訓練の場として、利用者様が出来ることを増やせるような支援を心がけています。その中で利用者様それぞれが自分のペースで生活を送ることに職員として寄り添っていけたらと思っています。

職員は利用者様の家族になることは出来ませんが、グループホームが安らげる場所になれるような対応や環境作りを目指していければと考えています。

サービス管理責任者　森武由利子

法人本部

「共存共栄　～人権・自立・社会参加～　」

法人本部は、平成５年に設立されて以来障がいのある方を支援するため、法人の理念を実現すべく法人運営に取り組んでいます。

現在では大川市内で木の香園生活支援センター・木の香園自立支援センター・木の香園就労支援センター・木の香園相談支援センター・木の香園児童支援センター・木の香らんど・木の香ほーむ・木の香ほーむ陽の木を運営しており、それらを統括する役割を担っています。

主な内容としましては、理事会・評議員会の開催、総務、庶務などの業務に取り組んでおり、法人のさらなる発展を目指しながら、職員３人で毎日楽しく従事しています。

利用者様やご家族が利用したいと思えるような法人運営、職員が働きやすいと感じる職場作りを日々心がけています。今後も“地域に根付いた法人”を目標に邁進していきたいと思いますので、何卒よろしくお願い致します。

古賀・山崎・紫牟田

木の香園相談支援センター

「現在から未来へ　あなたの生活をサポートします」

モニタリングの様子

事業所や自宅等に訪問し、定期的に面談を行っています

【相談支援事業所とは】

木の香園相談支援センターは、障害分野の相談窓口として、日々様々な業務を行っています。

具体的には、大川市の委託相談事業（サービス利用を希望している方を必要なサービスに繋げる調整や、障害支援区分認定調査の実施等）、サービス等利用計画書の作成や定期的なモニタリング（状況把握）の実施などの計画相談支援業務を行っています。今年度は感染症対応のため、電話でのモニタリングも実施しています。

【支援の高みを目指して】

日々の業務のなかでは、職員ミーティングで情報共有や事例検討を行い、より良い支援が提供できるように努めています。また、学校、病院、ハローワーク、居宅介護支援事業所など様々な関係機関と連携したり、市役所が開催する自立支援協議会の定例会（月１回）等に参加し、地域の現状把握や課題を確認し、対策を協議しています。そのほか福祉サービスの情報提供や意見交換を行っています。

今年度、公用車を２台購入しました。

訪問等に役立てています！

事例検討の様子

木の香らんど

「 みんなの居場所（いばしょ） ～enjoy yourself（あなたらしく）, わくわくwork（ワーク）～ 」

【一人ひとりの目標に向かって】

木の香らんどでは毎日、青空朝礼の実施、マスク着用、作業スペースの間仕切りをするなど感染症対策をしながら、施設内外で様々な作業を行っています。

（就Ｂ：26 名、地活：６名利用中）

新型コロナの影響で、作業が減った時期もありましたが、利用者様の工賃向上を目指し、新しく温泉施設の除草・清掃作業や、きのこの収穫・パック詰め作業など施設外作業にも取り組みました。

利用者様のニーズに合わせた作業の提供に加え、職場マナーや生活支援、日々の生活での困りごとの相談等もお聞きしています。必要に応じて、関係機関とも連携しています。

工賃額の紹介

コロナ禍の中、新たな作業にも挑戦し、今回、木の香らんど史上最高額の工賃を支給することができました。

Ａさんの場合

12 月支給工賃：36,790 円

冬期賞与：30,590 円

合計 67,380 円

【仕事に励み、遊びも楽しく】

今年度のレクリエーションは、予定していた外出行事は行えず、施設内で卓球大会やカラオケ、BBQ などを行っています。夏に行った陶芸教室は、初めての方も多く、作品作りに集中して取り組まれ、すてきな焼き物が出来上がりました。今後は、新型コロナの感染状況を見ながら、外出行事も取り入れ、利用者様の楽しみ・リフレッシュする機会を増やしていきます。

【地活・就労準備支援事業】

訓練生　俣野菜見子さん

（R2.11 月～）

木の香らんどは、見学に来た時に楽しそうな雰囲気だと思い、利用し始めました。難しいと思う作業もありましたが、ずいぶん慣れ、他利用者さんとも楽しくお話することができています。自分に合う仕事に就けるよう、ここで経験を積みたいと思います。

【新人職員紹介】

廣松　朋子

（職業指導員）

８月より勤務しています。覚えることがまだまだたくさんありますが、みなさんと一緒に頑張りたいと思います。

よろしくお願いします。

木の香園就労支援センター

「チャレンジ、スタート　～共に歩もう～」

【それぞれに合わせた支援を】

作業面や生活面において、利用者様一人ひとりに必要な支援を提供しています。

その日の作業を把握し、作業後は自分で振り返りを行ってもらうスケジュール管理や、レシートを基にお金の使い方の確認をする金銭管理などを行っています。最近では、新型コロナウイルスの影響でマスクが必須となり、障がい特性上マスクが苦手な方でも着けていけるように声掛け・サポートを行っています。

土曜開園日では、マナー講座・自転車交通ルール講座も実施しました。利用者様からは「仕事をする上での大切なことを再認識することが出来た」と感想が聞かれました。

マナー講座（仕事でのルールなど）

マスクの声掛け

金銭管理の様子

【経験値アップを目指そう】

今年度より、新たな作業が増えました。

施設外では、クッション梱包とテーブルのビス止め、家具保護用の段ボールの組み立て作業、資材梱包作業を行っています。どの作業も基本的に２人ペアで行っており、お互いに協力しながら取り組んでいます。

園内では糸切りや導線のテープ巻き、メジャーの検品などの軽作業を行っています。

【アルミ缶回収についてご協力のお願い】

就労支援センターでは、アルミ缶の回収、プレス作業を園内にて行っています。

ご自宅にアルミ缶がある際には連絡頂ければ回収に伺います。

お気軽にご電話ください。

ＴＥＬ：０９４４－８７－７１７９

担当：古賀亮

１０月にプチ祭りを開催しました！

グループホーム特集②

木の香（き か）ほーむ（小保・道海・木室）

「それぞれの居場所 それぞれが特別」

○歴史

平成２２年４月　木の香ほーむⅠ・Ⅱ（小保ほーむ）開設
平成２６年４月　木の香ほーむⅢ（道海ほーむ）開設
　　木の香ほーむⅣ（木室ほーむ）開設
平成２９年６月　木の香ほーむⅤ（木室ほーむ）開設

○それぞれの木の香ほーむについて

ほーむⅠ・Ⅱ（小保ほーむ）
定員４名・男性
小保団地の２部屋
団地の草取りにも
参加しています！

ほーむⅢ（道海ほーむ）
定員７名・男性
一軒家
男性だけでワイワイ楽しく
暮らしています！

ほーむⅣ・Ⅴ（木室ほーむ）
定員１１名・女性
サンヴェルディ木室の４部屋
料理や手芸などの女子会
楽しんでいます！

○ほーむのタイムスケジュール

【平日】
７：００　起床・朝食
　　準備
８：００　通所
　　日中活動
　　（一般就労・Ａ型・Ｂ型）
１６：００　帰宅・入浴
１８：００　夕食
　　自由時間
２２：００　消灯

【休日】
７：００　起床・朝食
　　自由時間
１２：００　昼食
　　自由時間
１８：００　夕食・入浴
　　自由時間
２２：００　消灯

※細かいスケジュールは利用者様自らが決め、過ごしています。

利用者インタビュー①

小保ほーむ　武下幸司さん

毎日頑張っています！

Ｑ１．ほーむでの生活は何年目？

→大体 10 カ月くらい。

Ｑ２．ほーむに入る前と現在で自分に変化は？

→穏やかになった。同居人や世話人との関係も順調です。

Ｑ３．今後の生活面・就労面での希望や目標は？

→現状を維持していきたい。たまに遅刻してしまうことはあるけど、休まず頑張ることが目標。

まだまだ慣れないことも多いけど楽しく生活しています。これからは道海ほーむや木室ほーむの人とも会って交流してみたいです。

利用者インタビュー②

道海ほーむ　坂井幸樹さん

Ｑ１．ほーむの生活で楽しいことは？

→みんなと話が出来ること。

Ｑ２．共同生活の中で大変なことは？

→災害等の緊急時、避難するのがきつい。

Ｑ３．共同生活の中で自分が気を付けていることは？

→周りに迷惑をかけないこと。
色々あるけど、何かあれば世話人さんに相談するようにしている。

１人暮らしは気楽かもしれないけど、仲間と生活することが楽しいし、自分に合っていると感じています。

鷹の祭典で貰うユニフォームを集めています！

利用者インタビュー③

木室ほーむ　後藤貴美子さん

小説が好きです！

Ｑ１．ほーむの食事は美味しいですか？

→ご飯は美味しい。職場で作ったものを実際に食べると印象が変わる。

Ｑ２．休日の過ごし方は？

→仕事がない日は、１時間くらい遅く起きてゆめタウンか積文館へ買い物をしに行く。好きなテレビもゆっくり観ている。

Ｑ３．ほーむの生活で楽しかったことは？

→誕生日会でお寿司を食べたこと。
以前行ったイルミネーションも良かった。

本屋大賞など受賞した小説は好きなので読んでいます。休日は読書等自分のペースで過ごせるのが嬉しいです。

グループホームが利用者さんの“安らげる場所”となれるように

グループホームでは日々様々なことが起きます。しかし、育ってきた環境も現状も違う人達が共同生活を送る上でトラブルが起きることは当然であり、「想いの先にあるもの」は何かを考え対応することを意識しています。また、“終の棲家”としてだけでなく一人暮らしの訓練の場として、利用者様が出来ることを増やせるような支援を心がけています。その中で利用者様それぞれが自分のペースで生活を送ることに職員として寄り添っていけたらと思っています。

職員は利用者様の家族になることは出来ませんが、グループホームが安らげる場所になれるような対応や環境作りを目指していければと考えています。

サービス管理責任者　森武由利子

木の香園生活支援センター

「笑顔と思いをみんなでつなげよう ～ひとりじゃない、手を取り合って～」

【生活支援介護】（共生型・日中一時）

今年度は新型コロナウイルス感染症が大流行し、生活介護のご利用者様が楽しみにされているイベント類が中止となりました。７月には、密を避け、最小限の中ではありましたが、七夕会と戸外での水遊び、10月に運動会と園外活動を実施することができました。行事を通してご利用者様同士の交流も深まり、楽しまれていた様子でした。12月には外部の方をお呼びできない中でクリスマス会を実施し、利用者様にプレゼントを渡しました。今後も新型コロナウイルス感染症予防を継続しながら新しい生活様式に合わせた活動を充実させていきます。

【就労移行支援】

今年度はコロナの影響で、予定していた職場実習が出来なくなりました。下請け作業も減り作業のない月もありましたのでパソコン訓練を主に、施設内の清掃や普段行き届いていない換気扇清掃、網戸の張り替え等もおこないました。また、就労アセスメントの受け入れも３名ありました。これからの方針としてはハローワーク、商工会議所又は企業とも連携を取り情報共有を行い、就労支援体制をしっかり整えていきます。

【新人職員紹介】

高　田　香　里

（生活支援員）

11月より勤務しています。
利用者さんの安心安全を第一に、
日々努力し成長していきたいと
思っています。よろしくお願します。

新型コロナウイルス対策として外出自粛をしたため、レクリエーション用具を購入して日中活動の充実を図りました！

スカットボール♪

ボッチャ♪

木の香園児童支援センター

自分たちのペースで
「OWN　PACE　～イキイキ、のびのび、元気よく～」

【単位Ⅰ】

昨年は新型コロナウイルスの影響もあり、例年通りの行事が難しい１年でもありました。

単位Ⅰでは今年度から個別のリハビリテーション機能訓練を始めました。日々の活動のなかにシールの色分け、型はめの手指運動、バランス運動、ラジオ体操等の体全体を使った運動等様々な活動を取り入れています。

１０月に昇開橋を渡りました。地元の建造物の歴史に触れ、実際に橋の昇降を見学することができました。

【単位Ⅱ】

新しい利用者も増え室内の雰囲気が一段と明るくなりました。

今年度は調理実習・買い物実習を多く取り入れ、生活面のスキルアップを目指し支援しています。初めは包丁の握り方も分からない利用児童もいましたが、今では積極的に参加し手順表を見て自分たちの力で１から作れるようになってきました。

外出行事では自然に多く触れ、元気よく体を動かしました。

【１１月にミニ運動会を開催しました！！】

初めての試みでしたが、大勢の利用者様や保護者様の参加があり、交流できた素晴らしい機会となりました。

【新人職員紹介】

野村　美鈴

（児童指導員）

６月より入職いたしました野村と申します。子どもたちと過ごす時間を通して、自分自身も成長していけるよう努力してまいります。

感　染　予　防　対　策

法人で感染症予防対策を実施しました。今回はノロウイルスについての基礎知識と嘔吐処理の対応について実践演習を行い学習しました。

【感染予防】
- マスクの徹底
- 手洗い、アルコール消毒
- 毎日の体調管理
- ソーシャルディスタンス
- 環境整備・適時換気
- 不要不急の外出

【嘔吐物の処理】

（処理の三原則）
1. すばやく処理をする
2. 乾燥させない
3. 消毒をする

【研修の様子】

看護師による講義

実技

実技

実演

実技

その他主な職員研修一覧
- レクリエーション研修
- 防災研修
- 介護技術研修
- 記録技術研修
- 交通安全研修
- ストレスマネジメント、
- 接遇研修　　etc…

編集後記

ついこの前改元と思ったら令和３年を迎えました。昨年は世界中のコロナ禍で不安な日々を過ごした方も多かったのではないでしょうか。それでも時は刻一刻と進み大川市福祉会は３０年を迎えようとしています。これから様々な課題などがあるかと思いますが職員のみなさんにはさらなるスキルアップを目指して取り組んでもらいたいと願っていま

（川野　勝己）

【お知らせ】

今回の広報誌では初の試みとしてグループホーム（木の香ほーむと陽の木）の特集を組みました。利用者様・ご家族がどのような思いを抱かれているのか、職員が目指す支援等内容盛りだくさんになっています。

また、各事業所のキャッチコピーを作りました。ぜひご確認ください！　　（広報委員会）